

融，財務，経営，マネージメント，マーケティング，行政学，等)；即戦力がない（専門性がない，じゃあ何ができるのと言われて何もできない，物づくりができない，誤差を含む現実に起こる系での工学的解決法に慣れていない，等)；デザイン能力；運動能力；暗記力，などであった。

3) 行動・思考パターンの問題

行動や思考パターンに問題があるとした意見では，世の中とのつながりに関する意識が薄弱；机上で考え議論ばかりで実行力がない（抽象論に終わりやすい)；実用を目指した考え方が不足；感情的なものへの理解力が不足；低コストで商品化するという発想が不足；浮世離れしている（現実感覚に乏しい)；当面の目標への意欲が薄弱；チームワークの行動に弱い；応用センスが欠けている；システムの見方が欠如；細部に固執して疎まれる；あらゆることを真剣に考えすぎ上辺で進むことに適切に対処できない；固定観念が強くて自由な発想に乏しい；物事を白黒に分けたがる；起業に対する意識が薄弱；製品開発に近い分野に興味を持てない；現象に対する対処法が画一化しやすい；経営センスや企画力が欠如；ビジネス的に成功する意欲の欠如；うそやほらを吹けない，など。

4) 取得可能な資格について

取得可能な資格についての意見としては，何の資格も取れない；国家試験で免除項目がほとんどない，などがあつた。今後物理関連分野の学科や学会等が考えていくべき項目の一つであろう。

4. 9 キャリア発展の努力（自由記述）

「ご自身の今後のキャリアの発展の為に意識的に努力されている項目があれば，その内容と方法（たとえば，講習会に出席したり，資格を取得するなど）をお書き下さい。」という質問に，科学技術関係とその他に分けて回答してもらつた。

科学技術関係

41.6%の回答者から記述を得た。

1) 資格取得

取得した（しようとしている）資格として挙げられているものには，安全関係，電気，建築，土木等工学関係，弁理士，危険物，ベンダ資格，無線技師，技術士（FE，PE 等），情報処理関係，消防設備士，自動車整備士，学位，特許，社内試験，教員免許，放射線取

扱主任者，などがあつた。

2) 知識・技術の向上

学会，研修会，サークル，セミナー，講習会，シンポジウム，公開講座，展示会等に参加して新しい技術，ノウハウ，実験知識等を取得；プログラミング技能，IT 関係の技能の取得；関係する本（雑誌，論文，新聞記事）等を読む；数学や物理を再度勉強している，などが挙げられていた。

その他

回答率は 37%であつた。

1) 資格等（科学技術関係以外の資格取得）

科学技術関係以外の資格としては，簿記，法律学，会計学，弁理士，税理士，社会福祉士，社会保険労務士，所属業界の資格，図書館司書，MBA，教員免許，国際的に通用する資格（PMP, CISSP），などが挙がっていた。

2) 語学等の習得

英会話および TOEIC，英検等が多かつたが，ドイツ語，フランス語なども。

3) 講習会等への出席・参加

心理学，健康，美容の講習会等への出席・参加など。

4) その他の努力している項目

心の問題，環境問題などの勉強のほかに，「職探し」という記述も。

4. 10 その他の意見（自由記述）

「その他のご意見（出身学科への要望，後輩へのメッセージなど）をご自由にお書き下さい。」という自由記述の質問に対して記述があつたのは 52%である。学科や大学へと後輩へのメッセージが約半数ずつであつた。付録 6-2 に差し支えないと思われる形でそのまま載録するが，ここには主な意見を分類して例示する。

A 出身学科・大学へのメッセージ

A1 授業に対する意見

(a) 物理関係

物理現象の原理に興味を持つことができ，おもしろさ（法則発見の歴史；人物伝など）